

第 30 回 小豆島町総合教育会議

【日時・場所】

- 開催日時 令和 8 年 3 月 17 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 7 分
- 開催場所 役場西館 2 階 会議室 5
- 出席者 大江町長、坂東教育長、真砂委員、大山委員、照下委員、脊尾委員
- 同席者 **【町職員】**
古郷総務課長、小野こども教育課長、小野こども教育課課長補佐、黒島こども教育課係長、池元こども教育課主事
【教育関係者】
竹田小豆島中学校校長、武井池田小学校校長、伊丹星城小学校校長、林安田小学校校長、進藤こどもセンターセンター長、三好星城・安田・苗羽幼稚園園長、山口内海保育所所長、慈氏せいけんじこども園園長（代理）
- 傍聴者 5 名
- 事務局 3 名

【内 容】

【古郷課長】

ご案内の時刻が参りましたので、ただいまから小豆島町総合教育会議を開催します。議事までの進行を務めます、参事兼総務課長の古郷でございます。よろしくお願い致します。

総合教育会議については、本日が 30 回目の開催となります。会議は構成員であります町長、教育長、教育委員の 6 名で行うこととしています。

いつもと会場が異なるため、音響設備も簡易なものとなり、マイクの本数にも限りがありますが、会議録を作成する必要があるがございますので、マイクを使って発言いただきますようお願い致します。

それでは、小豆島町総合教育会議規則第 4 条第 1 項の規定により、総合教育会議は町長が招集し、議長となりますことから、この後の議事進行については、大江町長にお願いをします。

【大江町長】

本日は、大変お忙しい中、総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。

去る 1 月 28 日に開催しました第 29 回総合教育会議におきまして、内海地区の公立幼稚園及び保育所のあり方につきましては、統合することとし、新たに認定こども園を整備する方向で決定いただき、その候補地として統合後の 3 つの小学校跡地と新小学校敷地の 4 か所を候補地として選定していただきました。

さて本日は、前回の会議でご質問をいただいております保護者へのアンケートの結果、各候補地のメリット・デメリット、保育者が重要だと考える教育・保育の視点についてご説明させていただき、ご協議いただきたく、本日の会を開催させていただきました。

それでは、早速ですが、資料に沿いまして事務局から説明をお願いします。

【黒島係長】

事務局から資料の説明をさせていただきます。前回、委員のみなさんからご意見をいただきました内容を中心に掲載しております。

まず、1 ページをご覧ください。「就学前教育・保育施設利用者の住民登録に基づく学校区」というタイトルにしておりますが、この表には施設を利用していない子を含んでおりますので、タイトルを「就学前子どもの住民登録に基づく学校区」と変更をお願いします。こちらは、内海地区の校区ごとの0歳～5歳の子ども的人数を表しています。星城校区が84人、安田校区が64人、苗羽校区が47人という順番になっており、星城校区に就学前の子どもが多く住んでいることがわかります。

2 ページをお願いします。前回の総合教育会議で「保護者のニーズを聞いて決めていく方がよいのでは？」とのご意見をいただきました。今年度、令和7年7月と、昨年度、令和6年7月に子どもをもつ保護者へ、町の子育て支援に関してアンケート調査を実施しております。そのアンケートの中に幼保の統合の内容を掲載しました。

3 ページ以降、実施したアンケート調査の抜粋になります。

まず、3 ページをお願いします。こちらは令和6年度に実施したアンケートからの抜粋です。「通わせたい保育施設はどちらですか」こちらに関しては、「私立の保育施設（せいけんじこども園）」が49.7%と最も高く、「統合後の公立の保育施設」を選択された方は29.4%でした。

4 ページをお願いします。こちらは「先ほどの保育施設を選んだ理由」を選択してもらっております。「自宅の近い」が39.8%と最も高く、「子どもの学ぶ力を伸ばす教育が実践されている」や「保育内容・教育内容が良い」が次に高くなっていて、教育内容にも興味があることがわかります。

5 ページをお願いします。こちらは「公立の保育施設が統合になった場合、心配になること」を聞きました。「通園手段（自宅から遠い場合、自家用車での送迎が困難）」が44.1%と高くなっています。他はほぼ同じ%です。「その他」を選んだ方の中には「人数が増えると先生は増えるのか？」「自然の中での保育を希望されている方は、自然から遠のいてしまうのではないか？」などを心配されている方もいました。

6 ページをお願いします。こちらは「統合した場合に新しい園に期待することはどのようなことか」という内容です。「施設・設備の充実」が64.5%で最も高く、次に「集団生活」が42.6%となっております。「その他」の声として、「老人福祉施設や地域との交流をしてほしい」や「じっくり遊ぶ時間やゆったり過ごせる保育」を望んだり、「小学校と連携してほしい」「デジタル化をして保護者の負担を減らしてほしい」などの声がありました。

7 ページをお願いします。ここからは、令和7年度に実施したアンケートからの抜粋になります。まずは「通わせたい保育施設（認定こども園）はどこですか」です。こちらは、令和6年度のアンケート結果と同様、「私立の認定こども園（せいけんじこども園）」が

57%と最も高く、「内海地区の認定こども園」と「池田地区の認定こども園（現在の小豆島町こどもセンター）」が17%となっております。

8 ページをお願いします。こちらは「保育施設を選ぶ場合、何を重視しますか」です。「保育内容や先生の対応」「自宅から近い」が上位を占めています。令和6年度のアンケート調査と同じような結果となっております。

9 ページ、10 ページをお願いします。こちらは「統合についての自由意見」です。2 ページにわたっております。「子どもが少ないため、集団生活するためには統合は仕方ないのではないか」など、統合に賛成する声や、前のページでのアンケート結果にもありましたが、「地域の方との交流や地域行事、お祭り、お遊戯会、自然とのふれあいなどが子どもたちには大切だと思うので残してほしい」などの声があります。また、広い園庭を望んでいる方や、PTA 活動などの保護者負担を減らしてほしいなどの意見もあります。また、統合する場所は出生数の多い地区や保護者の生活動線を考えてほしい、子育てする保護者がストレスなく子育てできる環境に建設してほしい、小学生のきょうだいがいる場合は、小学校や放課後児童クラブが近くにあると送迎はしやすいなど、毎日の保護者の送り迎えに対する意見もありました。また、事故が起こりにくい場所を希望されている方もおります。賛成意見だけではなく、自分が住んでいる地区で通うことができることが一番いいと思う、と統合に反対の意見も少数でしたがありました。

11 ページをお願いします。こちらは、建設候補地のメリット・デメリットです。前回の総合教育会議で、この4つの候補地に絞られましたので、それぞれメリット・デメリットを記載しております。こちらは、幼稚園・保育所の先生方とも話をしながら考えております。

まず、①星城小学校跡地です。メリットとしては、内海小学校と近すぎず遠すぎず、ほどよい距離間があり、せいけんじこども園も同様に歩いて行くことができる距離なので交流がしやすい。距離間の「感」の字が誤っております。「あいだ」に訂正してください。また、近くに県道が通っており、大きい道路からも近く送迎には便利な点です。

デメリットですが、地盤高が低く、運動場においては、約80センチ浸水する予測となっております。また学校前の道は道幅が狭く、送迎の際の安全が確保しにくい。そして、星城校区以外に教育・保育施設がなくなってしまう地域とのつながりが希薄なることが懸念されます。

②安田小学校跡地です。メリットですが、災害の危険性が比較的少ない。また、図書館や消防署が歩いて行ける距離にあり、施設見学などもしやすい。大きな道路に面していないので、お散歩などの園外活動も安全にできることです。

デメリットですが、大きな道路から遠い分、道幅は狭く送迎時の安全が確保しにくく、送迎も不便な点です。

③苗羽小学校跡地です。メリットですが、大きな道路から近く送迎が便利。また近くに醤油や佃煮工場があり、小豆島の産業を身近に感じやすい。また、苗羽小学校の体育館が比較的新しいため、雨天時や猛暑日は体育館の使用ができる、などがあります。

デメリットですが、星城小学校跡地と同じく地盤高が低いことですが、こちらは運動場で約10センチ浸水する予測となっております。また、町の端の校区にもなりますので、苗羽校区以外の保護者からすると送迎が不便だという点が挙げられます。

④内海小学校です。メリットは、小学校と併設になりますので、先生方は小学校との連携が取りやすく、子どもたちも近くにあることで小学校の生活や見通しが持ちやすくなれることです。また、せいけんじこども園の敷地内にある放課後児童クラブと近く保護者の送迎が便利。せいけんじこども園との交流もしやすくなります。

せいけんじこども園と近くなることにメリットがある反面、保育施設同士が近すぎるというデメリットもあります。また、乳児や低年齢のクラスはお昼に午睡、お昼寝を行います。小学校のチャイムや放送の音のような生活音が午睡の妨げになる可能性もあります。星城小学校跡地と同じく、星城校区以外に教育・保育施設がなくなり、地域とのつながりが希薄になることが懸念されます。今後予定しております内海小学校前の道路工事の影響から、小学校に併設となると着工に時間がかかる可能性もあります。

ほかにも、様々なメリットやデメリットがあるかと思いますが、主要なものを記載しました。

最後 12 ページです。こちらは、公立の認定こども園が大切にしたい教育・保育です。こちらに関しましても、幼稚園・保育所の先生の意見を伺いながら作成しました。小豆島町の教育目標は、「ふるさとを愛し、人間性豊かで、たくましく未来に生きる人づくり」です。この目標を達成するために、「遊びや様々な体験を通して、学びの土台となる資質・能力を育む保育」「自然や地域の良さを生かし、ふるさとを愛する子を育てる保育」「しなやかな身体と心を育てる保育」「支援や配慮の必要な子どもみんなが共に育ち合える保育」「家庭や小学校との連携を深め就学までなめらかに接続できる保育」を大切にしていきたいと思っております。

以上で資料の説明を終わらせていただきます。ご協議のほどよろしく願いいたします。

【大江町長】

資料の説明が終わりましたので、どなたからでも結構ですか、ご意見を賜ればと思います。

【真砂委員】

失礼します。私は保護者のアンケートで、一番高い自宅に近いということを希望されている方が 39.8%。そういうことを考えると、せいけんじと同じところより違うところの方が、この希望には応えられるかなと思います。そうすると、安田や苗羽ということになるかなと。

安全面で言えば安田。それから児童数が 64 と苗羽よりは多いということも考えて、今後も多い状況であれば安田がいいなということになるんですけど、また福田や橘から来るとも考えると安田になるんですけど、道路が狭いという点がすごく引っかかります。

保護者が小さい子は連れて来ないといけない状況ですので、この道路が狭いということを見ると苗羽の方が、交通安全という面ではいいし、地震対応の津波関係も 0.5 メートルくらいですから場合によれば警察署も近くにあるし、そういう安心面はあるかなと。そういうことを考えると、通学通園バスとか、体育館の管理とか、そういうことも考えると、苗羽の方がいいかなと思います。

教育内容とかについては、今のところ 3 割 7 割くらいの割合で、せいけんじの方に行ってますので、それが 2 割 8 割。最悪の場合はそういう方向に行くかなと思いますので、そ

れが4割6割とか5割5割とかになるようにしていけるような教育をしていかないと。

小学校との連携考えると、小学校の隣に建ててもいいんですけど、どっちにしても、教育内容については、特に5歳児縦割り、この5歳児なんかは特にその学年で指導が十分できるようにしないと小学校へ上がっていく子どもへの保護者の不安がないような指導をちゃんとしないといけない。

これはもう、どっちにしたって同じことなんで、そういう保護者の近くに園がある方がいいというふうなことを考えると、苗羽がいいかなと今思っております。

すいませんもう1つ、道路が広がるということがあれば安田の方がいいんですけど、道路が広がることがないのであれば、苗羽小学校がいいかなと思います。

【大江町長】

大山委員どうぞ。

【大山委員】

私もアンケートをちょっと見せていただいたんですけども、真砂委員さんは家から近いというところを重視されたということです。家はいろんなところにあると思うので、私はどちらかというと教育内容、保育内容。それを重視する方の割合が結構高いので、やっぱりそこには関心があるんじゃないかなということで、そういうところを、考えていけばいいのかなと思いました。

私は、建設場所については、統合小学校併設がいいのではないかなというふうに思っています。理由としては、大きく3点なんですけれども、まず1つ目がやっぱり幼保小の連携ができるということです。幼小の連携、一言で言えばもうそれで終わってしまうんですけども、いろんな連携が考えられると思うんです。

例えば、子ども同士の交流。子どもが常に同じ敷地の中でおりますので、小学生と幼稚園の子どもたちが、常に交流ができるということで、それによってスムーズに小学校に入学できるのではないかな。それから環境も変わりません。同じ環境の中で、幼稚園から小学校に上がっていけるというふうなことで、小1プロブレムっていうふうなことで、幼稚園から小学校に上がったときに、子どもが環境の変化についていけずに不安定になるっていうふうなことも言われております。

文科省の方からも、幼小の連携っていうのを強化していくっていうふうなことが、提示されておりますし、小学校に上がったときに子どもたちが安心して生活できるようにするためには、併設、隣に小学校があるっていうのは、すごく大きなメリットではないかなというふうに思っています。

それから、小学生にとっても、幼稚園の子どもたちと交流することによって、やっぱり小さい子どもたちを大事にするっていうふうな、道徳教育であるとか人権教育であるとか、そういったところにも繋がっていくのかなというふうに思います。

それから、先生方の交流についても、十分にしやすいのかなというふうに思っています。

最近、支援が必要な子どもたちが増えています。そういう子どもたちの支援の方法であるとかそういったところを、きちんと幼稚園から小学校に繋いでいく。やっぱり隣にあって、常に小学校の先生が様子を見られると思うので、普段からはそれも大きなメリットがあると思います。

それから、教育保育内容で、英語教育であるとか、いろいろな内容もあると思うんですけども、そういったところも幼稚園でどのようになっているか、そういうところを小学校の先生が知ったうえで、小学校でも教育を行うっていうふうなところで、そういう、先生の交流、先生方の連携っていうのも非常に取りやすいかな。

それから、行事とかもひょっとしたら合同で、運動会であったりとか、それから、PTAの授業参観と保育参観を同時に開催したら、保護者も1回来れば両方見られるとか、いろいろメリットがあるかなと思います。

2点目としては、町の資料のメリットにはなかったんですけども、施設とか人材の共用っていうことが、考えられるかなと思っています。例えば、プールですとか、それから体育館とか、小学校で新しく作ると思うんですけども、そういったものを、幼稚園も一緒に使える。使えたら、新しく作る必要もなくなるのかなというふうなこと。

それから、人材の共用ということで、先ほどの支援が必要な子どもとか、家庭的に保護者にも支援が必要であったりとか、いろいろ最近課題のある家庭も多いと思うんですけども、そういったところで、スクールカウンセラーであるとかスクールソーシャルワーカー、小学校に配置されると思うんですけども、そういったところに非常に繋ぎやすい。隣にあるというふうなことで、非常に繋ぎやすい環境にはなってくるのかなというふうに思っています。

それから、新しい小学校に技能員さんが配置されるというふうなことも聞いておるんですけども、環境整備であるとか、それから、ちょっとした修繕であるとか、そういったところ、幼稚園の先生方、女性が多いかなと思うんで、やっぱり手が必要なときに、そういった手を借りやすくなるとか、そういうこともしやすくなるのかなと思います。

それから最後3点目ですけども、本来はこれが一番、最初かなと思うんですけども、やっぱり安全面かなというふうに思っています。どこもそんなに大きな災害のときの被害というのは考えられないのかなという気はするんですけども、やっぱり小学校を建設するということは絶対安全であるだろうというふうなところかと思っています。そういうところで一番安全なのは、小学校の敷地なのかなというふうなところと、あと、もし災害が起こったときに、引き渡しであるとか、そういうことを考えたら、小学校と幼稚園両方に子どもがいる場合は、引き渡しも1回で済むとか、それから、おそらく津波であるとか、洪水であるとかのときに避難をする必要はないかなと思います。

ですから敷地の中、園舎の中で待機をして、親が来るのを待つっていうふうなことができるのが、やっぱり併設したときのメリットかなというふうに思いました。

その3点を考えたときに私は、やっぱり併設っていうふうなところで、進めていくのが一番いいのかなというふうに思いました。

【大江町長】

脊尾委員。

【脊尾委員】

私は先にどこがいいかといましたら、内海小学校と併設がいいかなと思っております。現在小学3年生の子どもの父親なんですけども、小学校は安田小学校行っておりまして、そのあと、学童でせいけんじの方で預けております。そして仕事が終わって迎えに行く

きとかのことを考えたら、やはり、うちの場合は小学3年生の子ども1人だけなんですけども、下に弟さん妹さんがいる家庭って結構あると思いますので、小学校へ迎えに行く。幼稚園の送迎とかも、できたら同じところにあった方が、親からしたら、1回で済むかなあという考えがあります。

それと、もう1つの理由は、今から小学校ができて、丸島醤油さんへ抜ける道や、片城の交差点の方の道の道幅が広がるということをお聞きしておりますので、車の行き来も大分しやすいかなと思っております。

それと、アンケートにありました。6ページ目の保護者アンケートのところで、老人福祉施設との交流をして欲しいという項目がありまして、マリアさんもすぐ近くにあるのでいいのではないかなと思っております。

地域との交流や農業体験などを取り入れた教育をして欲しいということもありまして、せいけんじのことばかりになるんですけども、近くの田んぼで稲刈り体験をさせていただいたり、秋には芋掘りとかもさせてくれるところがあると思いますので、そういうところも共有して、新しい施設でもさせていただいたらいいのではないかなと思っております。

それと小学校とも連携して欲しいということがありますので、近くなのでそこもいいのかなと思っております。

【大江町長】

照下委員。

【照下委員】

保護者の皆様にとりましては、幼稚園、保育所、一番子どもの大切なときに、子どもをどこに預けるかっていう、非常に悩むと思うんですけども、私は統合した場合ですね、場所としましては、私の地元でもありますけども、苗羽小学校の跡地に、公立の幼稚園保育所を建てていただきたいと思っております。

体育館はそのまま使えますし、また保護者の皆さんが、保育所に預けてパートに出るとい場合、パートにもうそろそろ出ようかなって思ってるので保育所に預けると思うんですけども、その場合、職場がたくさん近くにあるということも挙げたいと思っております。

子どもの送り迎えのルート、道も割と広い道もありますし、ルートを作っていただくと、スムーズに送り迎えもできるのではないかと考えております。

また郷土を愛する子どもに郷土愛する心を植えるとか、そういう、例えば授業とかもあります。授業というかそういうことをして教えたりするのも苗羽小学校で、出身である壺井先生のお話とかも聞かせてあげたいですし、また、音楽とかの教育も小学生が体育館で使ってたのを利用すればいいのかなと考えています。

【坂東教育長】

よろしいですか。私は今、照下委員さんの方から出ましたけど、最終的にはもう苗羽小学校がいいと思います。

大山委員が言いましたように、統合小学校併設のメリットは、やっぱりこども園と小学校の接続とか、そのあたりが一番大きいと思うんですけども、そのあたりは、幼保こども園も小学校も町立なんで、そのあたりは苗羽小学校に行っても、その中での連携はとれ

るのかなあというのが1点です。

一番大きいのは、やっぱり草壁、星城校区に幼保小学校すべて固まるというのは、固まったということは、先ほどありましたけど、せいけんじの学童と近いという、これメリットもあるんですけど、真砂委員が言いましたように、自宅から近いという保護者の希望も多いということであれば、町内にせいけんじが草壁、こども園は苗羽というこのバランスも非常にいいのかなあと思っています。

併設した場合は体育館の利用も可能なんですけど、小学校の利用との調整。その点、苗羽小学校に行くと、体育館ははっきり言ったら、自由に使えるっていうこともあると思います。

苗羽小学校にするとしたら、道路とかは広いんですけども、距離的なちょっと抵抗感、安田草壁西村の方からしたら、少し苗羽は遠いのかなあという。これが一番大きなデメリットかなと思います。

ただ、もう1点がその地盤高というところも、安全性が一番大きい要件であると思うんですけども、苗羽小学校の運動場が半分ぐらい、最大の津波高で半分ぐらいということですので、園舎をある程度高さを上げて整備すれば、その辺りはクリアできるのかなと。

もう1点、内海小学校の併設でちょっと懸念があるのが、最初から計画しておけば、南側にこども園を設置したら、非常に広い道路に面して非常に便利できたと思うんですけども、現在小学校建設中ですので、北グラウンドに園舎を建てた場合、山側を見れば、一段高いところにマリアがあって、西側には12、3メートルの高さの体育館がある。南側内海湾を望む方を見たら、小学校の校舎2階建てであると。園庭がかなり広くとれますので、日当たりとか、閉塞感は特にはないと思うんですけども、その辺り保育環境を考えたら、苗羽小学校の方がより良い保育施設ができるのかなという感じがします。

結論とすると、ちょっと今日結論を出すのは難しいかなという感覚もあるんですけど、苗羽小学校の方が、総合的に見たらこども園建設にはいいのかなあというふうな感じがしています。

【大江町長】

ありがとうございます。ひと通りご意見聞いたんですけど、統合小学校併設と苗羽小学校跡地というご意見ばかりだったと思いますので、次回以降どういった資料を出せるかわかりませんが、再度ですね、この2ヶ所に絞って、議論を進めていきたいと思っています。私ももうその2ヶ所以外はないだろうという気がしています。

ただ行政的に一番気になるのは、今西村がどうも子どもさんが増えていて、教育施設がもうほとんど星城校区に偏ってしまう。そうすると、安田馬木のあたりが非常に寂しくなっていくような気がしていますので、私的には保護者の意見はいろいろあるでしょうけど、行政的に全体の町域の発展ということを考えたときに、どちらがいいのかなという気がしています。

当然、教育内容とか保育内容に興味がある保護者も多いので、場所が多少不便であったりしても、教育内容、保育内容が良ければ、決して人が来ない園児が来ないといったようなこともないと思っています。

このあたり、もう少ししっかり議論して、決めたらいいと思うんですけど、たちまちです、もう苗羽小学校跡地か新小学校に併設というこの2ヶ所に絞らしていただくとい

うことでもよろしいですか。

【真砂委員】

位置的にも安田が安全面もあるんですけど、道がやっぱり広がることはないですよ。

【大江町長】

マルヨシの横から上がっていく、安田小学校の校門の方に上がっていく道。それから川沿いの道。これ多分両方広がるということは、とても無理なんです。

【真砂委員】

私もちょっと通ってみたら、こっちの川沿いの方がね、あそこ幼稚園のところは広げれば、大体ちょっとこっちがあるけど、広がるかなあと思うんですけどね。費用的にも大変かかったりする場合もあるかなと思って。やっぱり狭かったらね、やっぱりちょっと、そうですね。はい。

【大江町長】

ではこの2ヶ所で今後さらに検討を進めていくということでもよろしいですか。

はい、分かりました。それとまた次回ですね、もっと深掘りした資料をご用意しながら、さらに検討を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。では本日はこの2ヶ所に絞ったということで、会議を閉じさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

【古郷課長】

それでは以上をもちまして、第30回の小豆島町総合教育会議を閉会といたします。大変お疲れ様でした。